

構想に盛り込まれている事項	構想に明確にはない事項
<p>○港の整備 【骨子P15】 (水深を深くして大型船が就航できるようにする)</p> <p>○広大な土地を利用してくつろげる場所を整備 【P17】 (芝だけ植えて、子どもを遊ばせたり、海岸や港を散策してお弁当を食べる場所。魚の市場通りで購入したものを食べても良い) ⇒寺泊を訪れて、魚介類や物産を購入して帰宅される観光客が多い現状。 ⇒これからの時代は余暇の時間が多くあるので、来てすぐに帰るのではなく、長時間行動する場所が良い。 ⇒お金も使わず、健康に良い場所になる。 ⇒夏の季節のキャンプなどの対応は必要。</p> <p>○キャンプ場の整備 【P17】 (公設の施設、ごみ収集施設の整備)</p> <p>○道の駅・海の駅の整備 【P17】 ⇒道の駅は、24時間車の駐車が可能となり、迷惑駐車は減少になる。 ⇒オートキャンプ等が可能になる。 ⇒農産物等の販売や体験等、多機能に活用できる。 ⇒釣った魚や寺泊の野菜を調理できる場所、子どもが遊べるスペースがあると良い。 ⇒気軽に子どもを連れてご飯を食べられる場所があると良い。</p> <p>○魚の市場通り駐車場の拡張整備 【P17】 (トイレ西側を含む)</p> <p>○浜茶屋(駐車場を含む)の整備 【P17】</p> <p>○水族博物館の整備 【P18】</p> <p>○マリンスポーツエリアの整備 【P24】 (水上スキー、ビーチバレー)</p> <p>○水上バイク発着場の創出、整備 【P24】 ⇒規制しても利用者は増加している現状であり、利用者のニーズを見極めた整備を進める。</p> <p>○寺泊文化センター周辺の整備 【P25】 (防風林、自然を生かした遊歩道の整備、海浜希少植物の保護)</p> <p>※テニスコートから野球場までの体育施設を合宿等ができる規模の施設に整備 (滞在型の観光客を誘致するための施設整備)</p> <p>※魚の市場通りの海側「中央海浜公園」から海へ出られるようにすると同時に、海岸整備 ⇒利用者のニーズを見極めた整備を進める。</p>	<p>○一部一施設という考え方でなく寺泊の特徴を生かし、ゾーンに分けて整備</p> <p>○マリクラブ船係留地の整備</p> <p>○町体育館を道(海)の駅等、多目的に使用可能な施設にする</p> <p>○旧支所跡地、民俗資料館の利活用</p> <p>○遊歩道の整備 (民俗資料館～白山媛神社～聚感園～お寺～旧支所)</p> <p>○バイパス道路に関連した整備 ⇒遊歩道(ウォーキングロード)の併設 ⇒縦の中小河川(下水溝を含む)、道路の整備 ⇒津波対策として高くなると思うが景観等の配慮</p> <p>○コロニーから水族館の海沿いにランニングコースを整備 (コースの地面1kmごとに、男女別、消費カロリー等を表示) ⇒観光客のためではなく、地元住民のための健康づくり。</p> <p>○水族博物館にスポーツジムを併設 ⇒海・夕日を見ながらトレーニングができる。水族館だけでは弱い。他に例が無いことがアピールになり、健康や寿命意識の強い市民には魅力的。町外からも会員は殺到する。</p> <p>○安全な釣り場の整備 ⇒港での釣りは、船の係留があったりしているので、釣りを自由にできない。洋上の釣り堀などがあると良い。</p>

